

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者保健福祉施策の推進			款	4	項	1	目	2	事業	6	整理番号	139				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	3242		昨年度整理番号	253	枝番号				
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分													
事業開始		平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	2	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	4	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 介護保険法 (2)										
	高齡化社会の抱える課題に対し、総合的な検討を行い、施策立案に向けた取り組みや計画の策定を行います。																	
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)															
	高齡者が介護が必要になっても生活できる環境づくりや生活支援を行い安全と安心感を高めます。また、高齡者が生涯現役でいきいきとした生活を送ること支援し、元気な高齡者を増加させます。		(1) 高齡者実態調査 (調査1件にかかる費用:総歳出経費 / 調査件数) (2) 第4介護保険事業計画(冊子印刷部数)															
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標																
3年に1回 ・介護保険事業計画の策定(20年度) ・高齡者実態調査(19年度) ・「高齡者のしおり」の発行(18年度) 20年度の重点的な取り組み ・在宅生活を支える施策の検討 ・ひとり暮らし高齡者対策の検討 ・孤立死防止対策の検討 等		成果指標名(1) 区民意見(件) 算定式・指標の説明等 計画に寄せられた件数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等																
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		実績		計画					
指標	活動指標(1)		部	0	545	461	0	0	0	0	0	450	0.0					
	活動指標(2)		円	0	0	0	1,500	1,500	0	0	0	0			100.0			
	成果指標(1)		件					50	32							64.0		
	成果指標(2)							0	0									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,479	12,671	10,482	12,988	11,300	20,891	20年度予算執行率% 87.0								
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費		千円	8,494	5,740	4,120	8,640	8,171	9,478	介護保険事業計画の策定、高齡者実態調査の実施、高齡者のしおりの発行は、それぞれ3年に1度行っている。								
	職員数(常勤 非常勤)		人	5.17 1.00	3.17 0.00	3.19 0.00	3.20 0.00	3.28 0.00	3.20 0.00									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	46,840	28,974	29,157	28,960	29,684	28,960									
		(内)非常勤職員分	千円	2,830	0	0	0	0	0									
	総事業費 ++		千円	69,149	41,645	39,639	41,948	40,984	49,851									
	単位あたりコスト (-)÷		円		76,413	85,985												
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0											
		国からの補助金等		千円	0	0	0											
都からの補助金等		千円																
その他の補助金等		千円																
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	69,149	41,645	39,639	41,948	40,984	49,851										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 139

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	介護保険事業計画の策定	1500
	孤立死防止推進事業(ひとり暮らし高齢者実態調査)	500	部	4,953
	管理事務費			1,240
	その他(高齢者施策の普及啓発、長寿応援事業検討会)			5,107
(2)事業実績	・介護保険法に基づき、制度運営の基礎となる第4期介護保険事業計画(H21～H23年度版)を策定しました。 ・区内在住の75歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者1,503人に訪問面接方式による調査を実施しました。 ・(仮称)長寿応援ポイント制度の具体化準備に向け、検討委員会を開催しました。(5回)			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の予測
	平成11年度:第1期事業計画策定(平成12年度介護保険制度開始)、平成14年度:第2期事業計画策定、平成17年度:第3期事業計画策定(介護予防重視型システムへの大幅な改正)、平成20年度:第4期事業計画策定 介護保険認定者数:8,653人(H12.4.30) 18,240人(H20.10.1)	第4介護保険事業計画策定に寄せられた区民意見としては、予防重視を図るための更なる介護予防普及啓発、サービスの質の向上に向けた介護人材の確保、保険料の引き下げ及び独自減免制度の具体化等の意見が寄せられました。	団塊世代の高齢化による高齢者人口の増加に伴い、介護保険制度の利用者も増加することが予測されます。このような現実に対応した制度内容の見直しも予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	介護保険法に基づき、3年に1度行われる介護保険事業計画の見直しであるとともに、今後3年間の保険料を算定する資料であるため。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができる ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	介護保険事業計画見直し検討の状況を、より多くの区民に知らせることで、素案に対して多くの区民意見が反映されます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益者負担はない。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	介護保険事業計画の製本は、庁内印刷で行っているため経費はかかっていません。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題  
20年度は、高齢者担当部として「第4期杉並区介護保険事業計画(21年度～23年度)」の策定に取り組みました。本計画では、これまでの成果を踏まえ、小規模多機能型居宅介護等の基盤整備や保険料の引き下げ、多段階化など、より一層の介護保険サービスの充実と安定的な制度運営を図ることにより、増加する要介護者等への対応や在宅生活の支援などの課題に計画的に対応していくこととなっています。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	20年度に作成した「介護保険事業計画」(3年ごと作成)は、庁内印刷を利用したので経費を抑えることができました。21年度に作成する「高齢者のしおり」(3年ごとに作成)は、請負契約で印刷する予定のため、経費が増となっています。ただし、広告を掲載するなどの対応を行っていきます。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	「高齢者のしおり」については、毎年の発行から3年に1度の発行になっているため、経費が削減できています。前回の発行からは、広告収入も得ています。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	「高齢者のしおり」については、3年に1度の発行であるため、掲載情報の変更への対応が難しい面があります。(定期的に正誤表を発行し、対応しています。)								
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	22年度には「高齢者実態調査」(3年ごと)の実施を予定しているため、予算増が見込まれます。ただし、介護保険相談員(民生委員)の訪問による調査依頼に抵抗を示す区民が増えているため、調査方法を郵送調査にすることで経費を抑えることができる余地はあります。							

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		まちの湯ふれあい入浴			款	4	項	1	目	2	事業	9	整理番号	142		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	3247		昨年度整理番号	255		枝番号	
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	49	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は55歳以上の区民		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者同士の親睦を深めることにより、社会参加、交流を広げることができる憩いの場となるようにします。 身近である公衆浴場で、まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、健康増進が図られ、リフレッシュはもとより、介護予防につながるようにしていきます。				活動指標名(式)		(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	ふれあい入浴事業は、区内の公衆浴場を特定の日(20年度は月4回)に、各浴場で決められた時間に入浴料100円で高齢者に開放する。 まちの湯健康事業は、高齢者の健康増進を図るため、区内の公衆浴場で月1~2回、太極拳、健康エアロビクス、てぬくい体操などを行い、実施後、参加者は100円で入浴する。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) ふれあい入浴1回当たりの利用者数 算定式・指標の説明等 年間延べ利用者数 ÷ 実施回数 成果指標名(2) まちの湯健康事業1回当たりの参加者数 算定式・指標の説明等 年間延べ参加者数 ÷ 実施回数								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		人	41,456	46,560	37,083	109,920	72,310	108,120	112,000	64.6	65.8				
	活動指標(2)		人	3,087	3,289	2,632	2,832	3,261	3,264	3,400	95.9	115.1				
	成果指標(1)		件	79	80	76	80	54	60	66	81.8	67.5				
	成果指標(2)		%	9	9	8	8	10	10	10	100.0	125.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,229	34,079	30,086	61,967	60,928	69,892	20年度予算執行率% 98.3						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項						
	(内)委託費		千円	29,191	34,039	30,052	61,927	60,888	69,852	ふれあい入浴回数は、19年度まで月1回もしくは月2回から、20年度月4回に変更。対象者は、19年度まで60歳以上から20年度より65歳以上に変更。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.45 0.00	0.45 0.00	0.43 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	4,077	4,113	3,930	3,620	3,620	3,620							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	33,306	38,192	34,016	65,587	64,548	73,512							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	803	820	917	597	893	680							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/						
都からの補助金等		千円	9,039	9,352	8,635	8,759	8,759	9,780								
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	9,039	9,352	8,635	8,759	8,759	9,780								
差引:一般財源 -		千円	24,267	28,840	25,381	56,828	55,789	63,732								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 142

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	ふれあい入浴(事業委託)(細)	1367
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	まちの湯健康事業(委託)(細)	339	回	18,357
	その他(事務費)			40
(2)事業実績	ふれあい入浴回数が、20年度から月4回に増え、実績は、72,310人でした。まちの湯健康事業は、高齢者向けに、太極拳、てぬぐい体操、健康エアロビクス等、健康増進を目的に実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成21年度 34か所 ・高齢者(65歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 39,699人(7.4%) 平成21年度 134,626人(19.2%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ふれあい入浴の回数が増えて、行きやすくなった。健康事業に参加すると気持ちがいいし、参加者との交流も楽しみです。
	今後の予測	対象の高齢者人口は、年々増加しており、ふれあい入浴、まちの湯健康事業共に、区民のニーズは高まると思われれますが、公衆浴場の廃業・休業が予測されるので、利用人数は横ばいがつづくと思われれます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	高齢者同士が親睦を深めることにより、社会参加、交流の拡大に貢献します。また、継続的に健康事業を実施することにより、介護予防を推進することができます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	ふれあい入浴、まちの湯健康事業のをポスター、チラシ等に工夫を凝らし、多くの人々に周知できるよう、積極的にPRをしていきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	利用者料金の値上げもあり得るが、無料から100円になった時点での減少結果からも利用者の大幅な減少が見込まれるため、受益者負担は現状どおりとします。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	1回あたりの委託料は、公衆浴場の入浴料金の差額と利用者数を基礎に算定しており、入浴料金や受益者負担額、利用者数を組合と見直す必要があります。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	ふれあい入浴、まちの湯健康事業は、高齢者の社会参加と交流の拡大という目的に貢献しています。今後も区民のニーズは高まると予想されます。21年度から、ふれあい入浴は毎週実施になり、利用人数の増加が見込まれますが、全体としては、公衆浴場の事業者の高齢化等による廃業、休業が見込まれ、長期的には減少傾向が伺えます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	20年度より、ふれあい入浴が月4回に拡大され、利用人数が増加したが、計画人数までは達成しませんでした。健康事業については、1回あたりの参加者数は増加しています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康事業については充実を図るため、利用者のニーズを把握し、浴場組合と検討します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	ふれあい入浴、まちの湯健康事業については、新しい利用者が少なく、広く多くの人々に周知します。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由								

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		風呂っと杉並		款	4	項	1	目	2	事業	10	整理番号	143						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	3247			昨年度整理番号	256 枝番号						
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分															
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	13	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			50歳以上の区民		根拠法令等		(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱 (2)									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公衆浴場がいきいきクラブや高齢者自主グループ(50歳以上)に健康づくりや生きがいを目的としたグループ活動の拠点となるよう浴場を提供している。						活動指標名(式)		(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の公衆浴場を50歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業(杉並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営費を補助する。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 1所あたりの1か月の利用者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度	計画に対する20年度						
			実績		計画		実績		計画		22年度	の達成率%	の達成率%						
指標	活動指標(1)		所	17		20		17		18		14		16		0		77.8	
	活動指標(2)																		
	成果指標(1)		人	18		22		15		18		16		16		0		88.9	
	成果指標(2)																		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,962		10,720		7,571		4,720		3,381		4,720		20年度予算執行率% 71.6			
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0								特記事項			
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		0		風呂っと実施浴場は廃業、休業により、14か所となったため、実績回数が減少しました。			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.00	0.30	0.00	0.17	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	2,718		2,742		1,554		1,358		1,358		1,358					
		(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		0					
	総事業費 + +		千円	8,680		13,462		9,125		6,078		4,739		6,078					
	単位あたりコスト (-)÷		円	510,588		673,100		536,765		337,667		338,500		379,875					
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		0				
		国からの補助金等		千円	/		/		/		/		/		/				
都からの補助金等		千円	2,981		5,360		4,544		2,360		2,360		2,360						
その他の補助金等		千円	/		/		/		/		/		/						
特定財源計 + + +		千円	2,981		5,360		4,544		2,360		2,360		2,360						
差引:一般財源 -		千円	5,699		8,102		4,581		3,718		2,379		3,718						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 143

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		風呂っと杉並 事業運営費助成(執)	14	所
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
	その他( )			0
(2)事業実績	・20年度当初、実施予定であった浴場2か所が、活動休止したため、回数等減少しています。内容は、太極拳、カラオケ、絵手紙等多種多様で、年間407回利用があり、高齢者のいきがいの場となっています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成21年度 34か所 ・風呂っと実施浴場 13年度 9か所 1年度 14か所	2
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	なによりも、仲間と語らいながら、趣味の活動をすることが、楽しみです。	
	今後の予測	新たに2か所が実施する予定なので、利用回数、利用者数が増える見込みです。	

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者の社会参加、交流の拡大に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	事業の拡大に積極的な取組みを行うよう浴場組合に働きかける。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	浴場組合の自主事業である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	実施回数が増えるほど、浴場組合の持ち出しが増える。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	平面の広さが確保できる浴場が、高齢者の地域活動の拠点となっていることは評価できます。今後、活動の場の提供が進むよう、浴場組合と周知方法などを検討します。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	実施状況を浴場組合と検証し、取り組んでいます。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公衆浴場が区の目標としている高齢者のグループ活動の拠点となるよう、積極的な取組みを浴場組合に働きかけていきます。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	浴場の廃業、休業により利用実績が減少しています。浴場組合に対し事業内容の見直しや実施浴場の拡大を促し、区はPRなどの後方支援を行うことで新たな利用者を増やします。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	高齢者人口の増加により、当事業への支援の必要性が高まっていくと予測されるため、補助を継続していきます。							

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		いきいきクラブの支援		款	4	項	1	目	2	事業	11	整理番号	144		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	2247		昨年度整理番号	257		枝番号	
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分											
事業開始		昭和	▼	33	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業	
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱
	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会														
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		クラブ会員一人一人が社会貢献活動やいきがい活動を積極的におこない、高齢期をいきいき元気に生活できるようにします。 クラブ連合会及び各クラブがさまざまな活動の活性化と、会員増加を図ることができる。										活動指標名(式)		(1) いきいきクラブ加入者数 (2)
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		84団体のいきいきクラブの、社会奉仕活動・友愛活動・生きがい活動・健康づくり等のクラブ活動に対して各クラブの会員数を考慮し助成する。 全クラブが加入している連合会の各事業の運営費を助成する。										成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) いきいきクラブ加入率 算定式・指標の説明等 いきいきクラブ加入者数 ÷ 60歳以上の人口 × 100 成果指標名(2) 1ヶ月のボランティア活動回数(クラブあたり) 算定式・指標の説明等 ボランティア活動回数 ÷ 全クラブ数 ÷ 12月
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度		
指標	活動指標(1)		人	7,540	8,000	7,317	8,000	7,051	8,000	8,000	8,000	88.1	88.1		
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	6.1	5.8	5.5	5.8	5.4	5.9	6.0	90.0	93.1			
	成果指標(2)		回	16	20	18	20	20	20	22	90.9	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,415	31,930	29,562	31,041	29,189	30,896	20年度予算執行率% 94.0					
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	28	0	28						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60 0.00	0.60 0.00	0.75 0.00	0.68 0.00	0.70	0.65						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	5,436	5,484	6,855	6,154	6,335	5,883						
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	35,851	37,414	36,417	37,195	35,524	36,779						
	単位あたりコスト (-) ÷		円	4,755	4,677	4,977	4,649	5,038	4,597						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/					
		都からの補助金等		千円	3,302	3,381	3,235	3,305	3,165	3,300					
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/							
特定財源計 + + +		千円	3,302	3,381	3,235	3,305	3,165	3,300							
差引:一般財源 -		千円	32,549	34,033	33,182	33,890	32,359	33,479							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 144

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		いいききクラブ助成金(細)	84	団体
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	福祉大会及びスポーツ大会分担金(細)			400
	指導者研修会及び都市交流懇談会(執)			145
	その他( )			0
(2)事業実績	いきがい活動、友愛訪問活動、社会奉仕活動を84クラブで実施しています。福祉大会 7回 スポーツ大会 5回 東吾妻町との交流会、映画会 会員の高齢化が進み、後継者がいない状況のクラブもあり、3団体が解散、休止となりました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和33年当初 29,907人(60歳以上人口)に対し3クラブ。平成5年 95,172人に対し会員数12,071人(人口比12%)クラブ数96。(会員数のピーク時)平成10年 107,118人に対し会員数11,606人(11%)クラブ数100。(クラブ数のピーク時)。以後、会員数、クラブ数とも年々減少中。平成20年 129,327人に対し会員数7,051人(5%)クラブ数83。平成21年 134,259人に対し会員数6,778人(5%)クラブ数81。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	いいききクラブ会員が高齢化、また、仲良しクラブ的なものが多く、クラブに知り合いがいない人は入会できません。魅力的な活動が行われていません。
	今後の予測	年々、高齢者数は増加していますが、会員数は減少しています。団塊の世代などをうまくクラブに取り込めないと、この傾向は変えられません。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	区内全域にわたって設立されているクラブの活動により、広範囲にわたる高齢者の社会参加が促され、地域の福祉貢献や高齢者の生きがい活動を支援する役割を果たしています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	各クラブが社会貢献活動や友愛活動を通して、地元高齢者のクラブへの理解を深め、会員数増加を図ります。区は広報等を利用しクラブのPRを行い支援します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	各クラブは会員費を徴収し活動しています。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	活動内容によって助成額に差をつけることがコストの縮減のひとつの方法です。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	友愛活動を積極的に行い、区のわが町クリーン大作戦には多くのクラブが参加して区の施策に貢献している。高齢化が進み後継者の不足、病気等による会員数の減少が新規の会員増加を大きく上回るなど、今後のクラブの運営に不安がある。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	単位クラブは役員の病気や死亡により役員の変更がうまくいかず解散するクラブがあるため、いいききクラブ連合会や、地域クラブ連合会が支援しています。解散した場合でも他のクラブが会員を受け入れるような体制を整えてきました。			
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	ゆうゆう館を運営するNPO法人等と連携して、60歳代の方が参加する魅力的な活動を展開し、また、クラブの運営に積極的に係る組織を造るよう支援していきます。			
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	現行のクラブ制度では口コミ等による勧誘が多く、積極的に活動したい人や団塊の世代の加入につながっていません。今後は、ホームページなどを活用し、定年退職後の世代に周知するとともに、クラブの運営もよりオープンになるよう指導していきます。				
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現状の助成金は会の運営に必要なため、減額することはできませんが、長寿応援ポイントとも連携し、高齢者が社会で活動するためにクラブを活用し、会員数の増、役員の後継者育成につなげていきます。		

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		シルバー人材センター支援			款	4	項	1	目	2	事業	12	整理番号	145		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	3246			昨年度整理番号	258 枝番号		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	54	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象		<input type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱			
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援します。						活動指標名(式)				(1) 就業実人員数		(2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				成果指標名(1) 延べ受託件数		算定式・指標の説明等 月単位で実績のあった受託件数の累計	
		成果指標名(2)		会員の就業率		算定式・指標の説明等 就業実人員数÷月平均会員数										
区分		単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%
			実績		計画	実績		計画	実績		計画	実績	計画	22年度		
指標	活動指標(1)		人	1,864	1,961	1,875	1,982	1,895	2,030	2,073	91.4	95.6				
	活動指標(2)		人	2,693	2,802	2,693	2,800	2,695	2,900	3,588	75.1	96.3				
	成果指標(1)		件	15,879	18,114	16,454	19,667	16,639	21,357	23,197	71.7	84.6				
	成果指標(2)		%	70	70	70	71	70	70	80	87.5	98.9				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	167,063	173,568	166,637	173,532	168,789	175,766	20年度予算執行率%		97.3				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30 0.00	0.30 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	2,718	2,742	2,285	2,263	2,263	2,263							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	169,781	176,310	168,922	175,795	171,052	178,029							
	単位あたりコスト (-)÷		円	91,084	89,908	90,092	88,696	90,265	87,699							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		千円	14,382	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495						
その他の補助金等		千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 + + +		千円	14,382	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495								
差引:一般財源 -		千円	155,399	163,815	156,427	163,300	158,557	165,534								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 145

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	シルバー人材センター運営助成(細)			163,789
	その他(シルバー人材センター運用資金貸付金)			5,000
(2)事業実績	補助金交付4月・10月 計2回 貸付金交付4月 計1回 定期総会(5月・3月)計2回 定例理事会(毎月)計12回 事業周知支援(広報すぎなみ掲載)年間計54回 事業収入額 954,718千円 ゆうゆう館協働事業運営 ゆうゆう浜田山館			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	総人口(区)に占める60歳以上の区民の割合:昭和54年 8.57% 平成21年 25.4% シルバー人材センター会員数: 昭和54年度 1,280人 平成20年度 2,739人		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	会員数の増加とともに、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきています。そのため、自分の希望する仕事に就業することができないという苦情があります。		
	今後の予測	今後ますます、事務系職種に就業希望する会員が増えるにつれ、シルバー人材センターは、多種多様な就業機会の確保、事業開拓がよりいっそう求められます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会等を提供することで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献しています。「いきいき元気に生涯現役」を目標とする区として、その支援は重要な施策です。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	「中長期計画」に定めたビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図り、様々な職種の開拓、拡大により会員数、就業者数の増加を図ります。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	該当しません。		
(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	中長期的に、会員数、就業者数、契約件数、契約金額の増加等により法人全体としての経営状況が安定すれば補助金額を削減することができます。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)		
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	受託件数、就業人員、事業収入の増加は、シルバー人材センターの広報、説明会等の取組みの成果です。また、職員研修の充実などによるサービスの質の向上は利用者のアンケートの結果からも伺えます。今後、高齢者人口の増加による就業希望者の増加に対応すべく、就業相談や就業先開拓など新たな取組みについて区は支援していきます。また、ゆうゆう館2館の、区との協働事業の運営に関わり、地域の高齢者の生涯現役のための活動機会を創出できるよう支援していきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	シルバー人材センターは、公共バスの車中アナウンスによる事業PRや、各イベント会場への会員の手作り作品の販売進出などの新規事業に積極的に取り組みました。また、引き続き、接客研修などを実施し、接客態度の向上に取り組んだ結果、「お客様満足度調査」において高い評価を得ました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	シルバー人材センターが策定した「中長期計画」に基づく、シルバー人材センター事業の運営支援を継続して行っていきます。また、シルバー人材センターが公益法人として広く地域貢献活動を行い、これからもさらに地域で必要とされる法人として活躍できるよう、支援を行っていきます。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	会員の増加を図るには、人気の高い事務系職種の開拓拡大が急務ですが、一般企業側の求人需用は以前として小さいのが現状です。事業PRを継続して行うとともに、会員の完成度の高い仕事の履行、接客態度の向上による顧客獲得に地道に取り組む必要性があります。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	シルバー人材センターが、引き続き公益性と収益性のバランスの取れた経営ができるよう支援します。公共からの受託事業や、区等からの補助金に依存しない事業運営ができる財政基盤をつくるのが望ましいことですが、「中長期計画」に基づいた安定した事業運営を図るために、前年度程度の補助金等の支援をします。							



# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 146

20年度の事業実施状況	(1) 主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆう館いきがい活動支援事業(細)	102	回	1,620
		杉の樹大学	1	年間	3,777
		高齢者のための起業支援・就業支援(細)	1	所	543
		杉の樹ホール事業(細)	47	回	287
		その他(社会貢献スタッフ派遣、高齢者いきいき事業協働推進連絡会)			363
(2) 事業実績	ゆうゆう館では、NPO等と協働事業実施館が1館増え累計16館になりました。各団体の特徴を生かした講座を開催し、来館者が増加しています。てぬくい体操など高齢者向けの健康事業への参加者が増加しています。毎年好評な杉の樹大学は第25回となり多数の卒業生を送り出しました。各年の卒業生がグループで活動を続けています。ゆうゆう高円寺南館で、就業・起業を支援する講座及び相談事業を21年5月から開始するための準備をしました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成20年18.68%			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	健康事業に定員以上の集客があり、活動時の事故を懸念し、実施回数の増加や定数について見直しの要望があります。杉の樹大学は好評で毎年学生を輩出しているが高齢者の負担にならない講座内容にしてほしいとの要望があります。定年後の過ごし方として、今までの経験や技術を活かして地域で活動をしたい、仲間がほしいなど社会参加への要望があります。			
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成20年 99,589人(18.63%) 平成22年 103,248人(19.17%、区推計) 高齢社会が進む中、団塊の世代が定年を迎え、地域でいきがい、社会貢献活動を希望する方、介護予防、認知症予防に関心が高まると予想されます。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 高齢者活動支援センターやゆうゆう館の事業に多数の参加者があり、健康やIT関係などへの学習意欲の高まりが確認されます。また地域活動団体の交流や情報交換が積極的に行われ、新しい活動機会が提供されつつあります。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	地域のNPO法人や団体が主体的に運営できるよう、他の活動団体との調整や広報活動などの環境整備をします。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	事業は受講者からの受講料をいただくものと無料のものがあります。講座内容によっては受益者負担を少なくし広く参加者を募集します。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	魅力ある事業の実施と広報PRなどで、参加者が増えれば経費が削減できます。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	地域の活動団体は、いきがい活動、健康事業、生涯学習など多種多様な講座を企画運営し、高齢者に健康増進、社会参加の機会を提供しており、区の掲げる生涯現役、ふれあい交流の実現に寄与しています。今後は、団塊の世代の地域社会への関わりを築き、多様な価値観に応じた講座等の企画運営を実施できるよう、団体の能力の向上、団体間の連携等について、支援をします。また、社会貢献スタッフの育成と活動の場の確保については、長期的な計画を策定します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	全ゆうゆう館を協働事業実施館とするため、計画的に団体の選定、事業評価を実施しました。「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」の自主運営が進んでいます。ゆうゆう館の健康事業の委託予算が少なかったため委託化はせず、外部からの講師と社会貢献スタッフで事業を開催しました。協働事業実施館は7館の予定のため21年度予算は増額した。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 協働事業の受託団体の確保には、すぎなみ地域大学に講座を開設し、実施団体の確保に努めます。さらに、活動団体間の連携を図り、相互に事業の質を向上させるために支援します。連絡会を年3回程度開催し、協働で情報提供、課題を検討します。委託可能な事業は協働事業に移行し、社会貢献スタッフの活動の場として検討し、また、すぎなみ地域大学による社会貢献スタッフ育成を図ります。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	受託団体は、ゆうゆう館の利用者の信頼を得て、事業展開することが課題です。このため、ゆうゆう館の地域社会における過去からの位置づけや地域住民の状況を把握し理解することが不可欠です。受託団体が、地域の団体や町会などと協力体制を確立できるように指導、助言をします。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	全ゆうゆう館を協働事業実施館とするため、のこり9館を協働事業実施館として事業展開するための備品購入費や消耗品購入費が予算計上いたします。							

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	高齢者活動支援センター事業運営				款	4	項	1	目	2	事業	31	整理番号	164		
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課				係名	管理係 (施設担当)			連絡先 電話番号	2245			昨年度 整理番号	264		
上位施策No・施策名	30 高齢者の社会参加と交流の拡大													予算事業区分		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠 法令 等			(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会設置要綱							
	60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場) 60歳以上の区民(健康相談) 高齢者活動支援センター運営協議会委員															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	スポーツ活動(ゲートボール)を通して、高齢者の社会参加の機会が拡充されることにより、元気高齢者が増加することです。 健康相談の実施により、高齢者の健康的な生活をサポートすることです。 運営協議会を設置し、区民の代表である委員からの意見が施設運営に反映されることです。				活動指標名(式)							(1) ゲートボール登録団体数 (2)			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を運営する。 高齢者活動支援センターの管理運営について、区民の意見を反映させるため、杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を設置し、会議を開催する。 高齢者の健康保持や生活全般に関する相談業務等を行う。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							成果指標名(1) 一週間に1回以上活動できた団体数 ÷ 登録団体数 × 100 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等				
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度						
指標	活動指標(1)	団体	17	17	20	21	20	21	22	90.9	95.2					
	活動指標(2)															
	成果指標(1)	%	86	100	83	100	100	100	100	100.0	100.0					
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費	千円	361	485	429	495	371	509	20年度予算執行率% 74.9							
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	千円	257	274	260	260	258	274	消耗品の購入を控えたこと、また、杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会の会議を2回開催する予定でしたが、1回の開催となりました。そのため、19年度の事業費から10%以上減額となり、また、20年度予算執行率が90%を下回りました。							
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.75   1.00	0.65   1.00	0.66   0.40	0.68   0.40	0.42   0.15	0.42   0.20								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	6,795	5,941	6,032	6,154	3,801	3,801							
		(内)非常勤職員分	千円	2,830	2,770	1,108	1,120	420	560							
	総事業費 + +	千円	9,986	9,196	7,569	7,769	4,592	4,870								
	単位あたりコスト (-) ÷	円	587,412	540,941	378,450	369,952	229,600	231,905								
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0	0							
都からの補助金等		千円					0	0								
その他の補助金等		千円					0	0								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	9,986	9,196	7,569	7,769	4,592	4,870								
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 164

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高齢者ゲートボール場清掃等委託	1	所	258
		杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会委員謝礼	13	人	78
		健康相談	1	年	13
		その他(光熱水費ほか)			22
	(2)事業実績	高齢者ゲートボール場の維持管理、団体利用抽選などを実施しました。杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を1回開催しました。年間を通して、高齢者の健康相談等を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。しかし、平成20年度は少し増加し、登録団体数は20団体となっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会からは、施設の老朽化とともに備品や消耗品類も老朽化が進んできており、施設の修繕や備品等の新規購入等に対する要望があります。
	今後の予測	高齢者人口が増加するとともに、スポーツなどを通じた社会参加の機会の拡充や健康相談などを希望する高齢者が増加していくと予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいづくり、健康保持の場として期待が寄せられています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	他のスポーツにも対応できるよう、施設整備を考えていく必要があります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	ゲートボール場の施設は、将来的には自主管理の方式にすることが望ましいと考えられますが、当面は、自主的な会費等の中から、活動に必要な経費(消耗品購入等)を負担してもらう方向で理解を求めていく必要があります。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	現在の経費は必要最小限となっているので、これ以上の削減は困難です。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	高齢者ゲートボール場の運営では、スポーツ活動を通じて高齢者の健康増進、社会参加の支援を行っています。健康相談業務では、高齢者の健康面や生活全般に関する支援ができました。高齢者活動支援センター運営協議会では、施設事業運営の問題点や課題について討議しました。いずれも、長寿社会の進展に対応した事業運営が求められている事業ですので、引き続き利用対象となる区民や協議会委員等の意見が反映された、利用者本位の事業運営を実施していきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	高齢者ゲートボール場については、昨年度と同様の運営とし、消耗品類については団体の自己負担の理解を求めました。		
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の登録団体等の組織強化を図り、完全自主管理の高齢者ゲートボール場運営を目指します。		
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	現在の高齢者ゲートボール場の登録団体は、連合体として活動できる組織力に欠けることです。		
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	高齢者ゲートボール場の運営については、基本的には現行どおりとし、消耗品類の自己負担への理解を求めていきます。		

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	ゆうゆう館の運営			款	4	項	1	目	2	事業	32	整理番号	165				
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課			係名	管理係 (施設担当)			連絡先 電話番号	3245		昨年度 整理番号	265	枝番号				
上位施策No・施策名	30 高齢者の社会参加と交流の拡大											予算事業区分					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	38	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠 法令 等		(1)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
	60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者 NPO法人等の協働事業実施団体							(2)	老人福祉法								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) NPO法人等の公共的な団体との協働により、効率的かつ 魅力あるゆうゆう館の管理運営を図ります。							活動指標名(式)					(1) 協働事業実施館数		(2)		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等の公共 的な団体に委託する。 効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評 価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評 価を行う。 新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選 定委員会を開催する。							成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					成果指標名(1) 協働化率		算定式・指標 の説明等 協働事業実施館数 ÷ ゆうゆう館数		成果指標名(2)	算定式・指標 の説明等
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対	計画に対す				
			実績		計画		実績		計画		22年度	する20年度	る20年度				
									計画			の達成率%	の達成率%				
指標	活動指標(1)		館	9	16	15	16	16	23	32	50.0	100.0					
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		%	29	52	48	52	52	72	100	52.0	100.0					
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	99,860	140,921	134,403	143,777	134,437	186,802	20年度予算執行率% 93.5							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費		千円	99,508	140,718	134,271	143,169	134,267	186,494								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00 0.00	0.00 0.00	0.62 0.04	0.61 0.04	0.96 0.23	0.99 0.29								
	人 件 費	(内)常勤職員 分(超勤分含)	千円	0	0	5,667	5,521	8,688	8,960								
		(内)非常勤 職員分	千円	0	0	111	112	644	812								
	総事業費 + +		千円	99,860	140,921	140,181	149,410	143,769	196,574								
	単位あたりコスト ( - ) ÷		円	11,095,556	8,807,563	9,345,400	9,338,125	8,985,563	8,546,696								
	財 源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの 補助金等		千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの 補助金等		千円				0	0	0							
		その他の 補助金等		千円				0	0	0							
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般 財源 -		千円	99,860	140,921	140,181	149,410	143,769	196,574									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 165

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館16館)	21	館	134,147
		ゆうゆう館評価委員会開催	2	回	78
		ゆうゆう館選定委員会開催	5	回	212
		その他( )			0

(2)事業実績  
平成18年度にゆうゆう館協働事業を開始した9団体の本格評価を実施しました。また、平成21年度から、ゆうゆう館協働事業を開始する9団体(1団体は選定後辞退)を選定しました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	受付等業務委託館は、平成18年度16館(うち協働事業館9館)から、平成19年度は19館(うち協働事業館15館)に増加しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	概ね順調に館の管理運営が行われており、ゆうゆう館全館での利用者総数が始めて30万人を超え、ほとんど利用がなかった前期高齢者層の利用も増加しつつあります。ただし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での活動ができなくなったなどの苦情も寄せられています。
	今後の予測	ゆうゆう館全館で、NPO法人等との協働化を図っていきます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	長寿社会の進展の中で、ゆうゆう館の果たす役割・機能が大きく注目されています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	ゆうゆう館全館においてNPO法人等との協働化を目指すためには、必然的に受付等業務の委託料を増加させる必要があります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	協働事業の参加者にはある程度の負担を求めることは可能ですが、生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営においては、利用者には負担を求めることは困難です。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	ゆうゆう館の受付等業務は、必要な人員配置をすることが基本であるため、現行の委託料等の削減は困難です。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	ゆうゆう館の施設運営が、効率的かつ魅力あるものとしていくため、NPO法人等との協働を進め、20年度には、32館中16館が協働事業館となりました。また、平成18年度に開始した協働事業実施団体の本格評価を実施するとともに、新たな協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催しました。今後も、ゆうゆう館の協働事業が一定の水準をもって継続できるよう、またさらなる質の向上が図れるよう、必要な評価を実施していきます。また、全館でのNPO法人等との協働化を目指し、新たな協働事業提案の募集を行います。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成20年度には、1館でゆうゆう館の協働事業が始まり、32館中16館が協働事業館となりました。また、平成18年度からゆうゆう館の協働事業を開始したNPO法人等に対する評価を実施しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに、ゆうゆう館全館での協働化を目指します。また、ゆうゆう館協働事業及びその実施団体の質と力量等の向上のため、必要な評価を実施します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館全館での協働化を目指すためには、その受け皿となるNPO法人等の実施団体の質と力量等の向上を図る必要があります。それを実現するためには、引き続き、すぎなみ地域大学において、NPO法人等の団体構成員を対象とする、ゆうゆう館運営受託講座を開講する必要があります。	
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理 由 ゆうゆう館におけるNPO法人等との協働化を推進するためには、必然的に委託料は増加します。

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		三療サービス			款	4	項	1	目	2	事業	33	整理番号	166		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	2247		昨年度整理番号	266		枝番号	
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	48	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			60歳以上の区民		杉並区高齢者三療サービス連絡協議会		根拠法令等	(1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにします。 診療所を持たない視覚障害者に就労の場を確保します。		活動指標名(式)		(1) 三療サービスゆうゆう館利用者数 (2) 三療サービス高齢者活動支援センター利用者数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			高齢者活動支援センター及びゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。		成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 代) ゆうゆう館利用率 算定式・指標の説明等 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100 成果指標名(2) 代) 高齢者活動支援センター利用率 算定式・指標の説明等 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率	計画に対する20年度の達成率			
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		人	4,751	4,800	4,763	4,800	5,157	5,200	5,500	93.8	107.4				
	活動指標(2)		人	2,848	2,900	2,718	2,900	2,644	2,900	3,000	88.1	91.2				
	成果指標(1)		%	6	6	6	6	4	6	6	65.8	65.8				
	成果指標(2)		%	2	2	2	2	2	2	2	86.2	89.3				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,630	12,970	12,737	13,851	13,178	13,851	20年度予算執行率%			95.1			
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費		千円	11,087	11,093	11,054	13,505	12,931	13,505							
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40   0.00	0.30   0.00	0.38   0.00	0.35   0.00	0.35   0.00	0.35   0.00							
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	千円	3,624	2,742	3,473	3,168	3,168	3,168							
		(内) 非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	16,254	15,712	16,210	17,019	16,346	17,019							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	3,421	3,273	3,403	3,546	3,170	3,273							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/						
		都からの補助金等		千円	5,755	5,930	5,930	6,363	6,358	6,363						
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	5,755	5,930	5,930	6,363	6,358	6,363								
差引: 一般財源 -		千円	10,499	9,782	10,280	10,656	9,988	10,656								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 166

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	ゆうゆう館事業委託	延960	回	10,488
		高齢者活動支援センター事業委託	延606	回	1,112
		その他( 役務費、需用費 )			
	(2)事業実績	1日あたり、10人から14人が利用しています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の高齢者人口(65歳以上)の構成比 平成10年15.71% 平成15年17.52% 平成20年18.92%			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施術者の技術にばらつきがあります。 施術者を選ぶようにしてください。 施術を受ける回数を増やしてください。			
	今後の予測	高齢者が多くなり、三療サービス利用希望者も増加すると思われます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進に一定の役割を果たしています。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	施術者の技術・サービスの向上を図ります。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	現在700円を徴収して利用者に施術を行っていますが、金額を上げることで利用者の減少につながるおそれがあります。なお、その料金については施術者の収入となっています。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	施術実績による委託料額変更、受益者負担額の増。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	利用者からはおおむね良好な評価を得ていますが、一部の利用者に施術者の技術に差があるとの意見もあり、施術者が館を異動すると一時的に利用者数が増減することがあります。施術者の技量に多少の違いがあるのは止むを得ないが、技術向上のための対策と場合によっては施術者の変更を協議会に要請します。				

	成果:    ● 増      ○ 現状維持      ○ 減	コスト:    ● 増      ○ 現状維持      ○ 減
改善・見直しの方向(中長期)	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 月2回実施する館を増やし施術回数を増やしました。ゆうゆう館においては、ほぼ定数いっぱいまで施術していますが、キャンセルによる施術回数減があるため、キャンセル待ち者の確保を行い施術者の収入の安定を図りました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ゆうゆう館利用者への声かけや広報への掲載の増などにより利用希望者を増やします。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新規の利用者が少ないため、町会やいきいきクラブを通して、三療サービスについて多くの区民に周知していきます。ただし、利用者が増えて、施術回数を増やす場合、委託料を減額し施術料金の引き上げによるコスト縮小が必要になります。	
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増    ○ 増      ● 増減なし      ○ 減      ○ 大幅減      ○ 予算なし
	(2)理由	当面、現行とおりの事業を実施していきます。

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		敬老事業		款	4	項	1	目	2	事業	34	整理番号	167	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	3246			昨年度整理番号	267 枝番号	
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分										
事業開始		昭和	▼	27	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条、5条、第13条第1項		(2)					
	75歳以上の高齢者		75歳、81歳、100歳以上の高齢者											
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		対象者が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにします。 敬老会や地域交流会の開催により地域のこどもたちを含む人々と交流することで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消を図ります。		活動指標名(式)		(1) 敬老会・半寿顕彰式典参加者数		(2) 祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。敬老会式典と併せて、半寿(81歳)の顕彰式典を開催する。 対象者に敬老祝い品を贈呈する(戸別配送)。		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 敬老会・半寿顕彰式典来場率		算定式・指標の説明等 来場者 ÷ 対象者数 × 100		成果指標名(2) (代) 地域交流会参加者数実績対前年比			
				算定式・指標の説明等										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
			実績		計画		実績		計画	22年度				
指標	活動指標(1)		人	5,914	4,000	4,332	5,000	4,201	5,000	5,820	72.2	84.0		
	活動指標(2)		人	7,771	8,240	8,050	8,500	8,306	8,306	9,000	92.3	97.7		
	成果指標(1)		%	13	8	9	10	8	9	10	80.0	80.0		
	成果指標(2)		%	104	100	97	103	107	104	105	101.9	103.9		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,007	33,039	28,127	35,671	32,057	38,240	20年度予算執行率%		89.9		
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費		千円	6,528	4,710	6,510	10,965	10,495	13,151					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.45 0.00	1.45 0.00	1.44 0.00	1.32 0.00	1.35 0.00	1.35 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	13,137	13,253	13,162	11,946	12,218	12,218					
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	39,144	46,292	41,289	47,617	44,275	50,458					
	単位あたりコスト (-) ÷		円	6,619	11,573	9,531	9,523	10,539	10,092					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等		千円	5,475	5,199	5,116	5,141	6,771	7,932				
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/						
特定財源計 + + +		千円	5,475	5,199	5,116	5,141	6,771	7,932						
差引:一般財源 -		千円	33,669	41,093	36,173	42,476	37,504	42,526						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 167

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	敬老会・半寿顕彰式典開催(執)	6
	75歳・81歳祝品贈呈	8054	人	17,284
	長寿祝い品贈呈(細)	252	人	2,029
	その他(敬老イベント・地域交流会)			41
(2)事業実績	敬老会・半寿顕彰式典 平成20年9月1日(土)・2日(日)、午前1回、午後2回計6回開催 式典・半寿お祝い会(子どもたちの歌や踊り)・橋幸夫歌謡ショー 75歳・81歳祝品贈呈 防災グッズセット(バッグ、多機能ライト、防寒暖シートなど) 長寿祝い品贈呈 カタログギフト、肌着セット、補聴器具のうちから1点選択 地域交流会 380回、1850人			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業(敬老会)を開始した当時は娯楽の少ない時代であったが、現在は日常的に趣味や娯楽を楽しむ時代です。75歳以上の高齢者人口(区総人口に対する比率)は、昭和27年の2,993人(0.8%)から平成21年の53,011人(10%)へ推移し、また、敬老会参加率は、平成9年の14%から平成21年の8%へ推移しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙等が寄せられている反面、祝いの品の種類や、敬老会の開催内容に対しての要望もありました。また、昨今の高齢者が犠牲となる詐欺事件等の増加という社会背景により、お祝い品に対して本当に区からの配送品かどうかの確認の電話が多数ありました。
	今後の予測	対象者の増加に伴い、ますますイベントや物に対する価値観の多様化が進みます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	高齢者の慶事の祝いのための事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者の社会参加や交流の拡大に貢献しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	敬老会や地域交流会などのイベントは全面委託化検討の余地があります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	慶事の祝いのため受益者負担はなじみません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容 )	対象年齢の引き上げによる対象者の縮小を検討する余地はあります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	最近数年、毎年約2000名ずつ対象者数が増えており、対象者の敬老会の開催内容や祝い品に対しての、価値観の多様化が進んでおります。一人でも多くの方に喜んでいただけるよう、社会情勢の動向をみながら、時代に合った事業全体の内容を検討していきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	今年度は、第60回敬老会開催、第10回半寿顕彰式典開催記念として、予算を増額し、2名の歌手を招いて開催します。この企画は民間事業者6社から募った計20の企画案の中から選定しました。また、開催案内状兼参加申込書(往復はがき)の返信用はがきに通信欄を設け、対象者の意向を把握することができました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 対象者の意向を絶えず念頭に置きながら、敬老事業全体の内容を民間事業者、NPO法人等の地域の公益法人や団体等と協働で検討していきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	敬老事業は、全国で定着しており、区内でも期待と関心が高い事業です。対象者を縮小する場合には区民に理解と協力を求める必要があります。								
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	対象者数の年々増加に応じて予算増加が見込まれます。							

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者活動支援センターの維持管理						款	4	項	1	目	6	事業	12	整理番号	234	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課						係名	管理係 (施設担当)			連絡先 電話番号	2245		昨年度 整理番号	269		枝番号
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大						予算事業区分										
事業開始		昭和	▼	58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業			
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例					
	60歳以上の区民及び高齢者活動団体																	
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		多くの高齢者の施設利用によって、相互の交流を活発にし、高齢者の社会参加の機会の拡充を図ることです。 高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与することです。						活動指標名(式)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) センター利用率 算定式・指標の説明等 年間利用者数 ÷ 60歳以上区民数 × 1回 × 12月 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度					
指標	活動指標(1)		人	82,770	84,425	82,705	86,675	94,733	97,092	98,510	96.2	109.3						
	活動指標(2)																	
	成果指標(1)		%	8	8	8	8	8	9	9	94.2	111.3						
	成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41,879	54,487	43,238	69,781	59,328	54,880	20年度予算執行率%			85.0					
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	15,213	15,047	441	特記事項 施設の老朽化に伴う施設改修工事を20年度に実施したことにより、19年度に比べ10%以上事業費が増加しました。 施設保守管理委託費が当初予定していたものよりも低額で契約できたことやISO14001の推進により光熱水費の支出を抑えることができました。そのため、20年度予算執行率が90%を下回りました。								
	(内)委託費		千円	18,925	27,290	20,483	43,338	35,521	28,301									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.75   1.00	0.65   1.00	0.77   0.64	0.79   0.53	0.63   0.53	0.67   0.53									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	6,795	5,941	7,038	7,150	5,702	6,064									
		(内)非常勤職員分	千円	2,830	2,770	1,773	1,484	1,484	1,484									
	総事業費 + +		千円	51,504	63,198	52,049	78,415	66,514	62,428									
	単位あたりコスト (-) ÷		円	622	749	629	729	543	638									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					0				
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0					0				
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	51,504	63,198	52,049	78,415	66,514	62,428										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 234

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建物総合管理委託			
		建物修繕、消耗品購入等	62	回	3,485
		施設改修工事			14,652
		光熱水費			20,314
		その他(通信運搬費ほか)			156
(2)事業実績	高齢者活動支援センターの施設管理(受付業務を含む)に対する委託を実施しました。また、利用者の利便性の向上や施設利用の安全面を確保するため必要な維持管理を行うとともに、備品・消耗品の購入等を行いました。更に、施設老朽化に伴い、施設改修工事を実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	老人福祉センターとして開館してから25年が経過し、施設全般で老朽化が見られます。平成15年4月から高齢者団体の自主的な活動拠点とするため、事業はNPO法人へ委託し、受付業務を含めた施設管理は、併設の地域区民センターとの総合管理として、民間企業への委託を開始しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設・設備の老朽化に伴う修繕等の要望があります。
	今後の予測	隣接の杉並清掃工場において建替え工事が予定されており、工事期間中は必要な熱源供給が停止します。それに対応するための施設改修工事等に合わせ、これからの長寿社会に対応できる施設への改修が必要となります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいづくり、仲間づくりの場として大きな期待が寄せられています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	施設の老朽化に伴う修繕経費等の増加が見込まれます。  指定管理者なども視野に入れた新たな施設運営への移行について検討が必要です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	杉並清掃工場建設時の和解事項等の経緯や、老朽化が進行している施設の現状から、新たに受益者負担を求めることは困難です。今後、施設の大規模改修後において、指定管理者による運営などの検討と合わせて有料化についても検討する予定です。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	コストは、施設維持管理に関する経費であり、施設の老朽化が進行している状況から、経費削減は困難です。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	60歳以上の区民の福祉増進を図り、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動が円滑に行われるよう高齢者活動支援センターの施設・設備の維持管理を行いました。今後、施設の大規模改修が予定されていますが、これまで施設が果たしてきた役割を踏まえ、既存の事業等を基本としながらも、これからの長寿社会の進展に即した見直しを行い、「いきいき元気に生涯現役」を推進する高齢者の活動拠点としていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	施設の大規模改修に向けて、基本方針や代替施設の確保、今後のスケジュール等について検討を行いました。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設建設時の経緯等を踏まえつつ、施設の大規模改修に合わせ、指定管理者への移行などを視野に入れた新たな施設運営への方策を検討する必要があります。			
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	施設建設時の和解事項の取り決め等により、施設用途及び運営方法などに制限があります。			
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 平成22年度には、大規模改修の実施設設計や代替施設の建設などを行う予定です。		

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の維持管理			款	4	項	1	目	6	事業	13	整理番号	235					
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	管理係 (施設担当)			連絡先 電話番号	2245		昨年度 整理番号	270		枝番号				
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分														
事業開始		昭和	▼	38	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業					
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条												
	60歳以上の区民、高齢者団体及びゆうゆう館協働事業参加者																		
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点としてゆうゆう館が、高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されることです。		活動指標名(式)		(1) 年間延利用者数 (2) 利用団体数(高齢者活動登録団体)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		32館のゆうゆう館を利用者が安全かつ快適に施設の利用ができるよう、施設の維持管理を行う。		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 60歳以上区民のゆうゆう館利用率 算定式・指標の説明等 年間延利用者数 ÷ (60歳以上の区民人口 × 2回 × 12月) × 100 * 月2回を標準利用回数とする 成果指標名(2) ゆうゆう館団体用諸室平均稼働率 算定式・指標の説明等 実際の利用数 ÷ 利用可能回数												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画	実績		22年度							
指標	活動指標(1)		人	284,545	296,000	312,006	312,000	310,357	311,000	312,000	99.5	99.5							
	活動指標(2)		団体	642	668	653	733	715	750	800	89.4	97.5							
	成果指標(1)		%	5	5	5	5	4	5	5	80.0	80.0							
	成果指標(2)		%	34	40	45	45	46	47	48	95.8	102.2							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	70,087	74,716	65,246	138,797	121,962	117,127	20年度予算執行率%			87.9						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	250	59,761	46,004	特記事項 浴室等の改修工事を20年度から実施することにより、19年度に比べ10%以上事業費が増加しました。  浴室等の改修工事では、入札により予算額よりも低い金額で契約できました。更に、ISO14001の推進により光熱水費の支出を抑えることができました。そのため、20年度予算執行率が90%を下回りました。									
	(内)委託費		千円	10,968	12,667	11,128	89,129	82,141	70,055										
	職員数(常勤 非常勤)		人	10.90 23.80	9.80 17.80	9.65 18.10	9.73 17.80	9.90 17.86	8.90 12.56										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	98,754	89,572	88,201	88,057	89,595	80,545										
		(内)非常勤職員分	千円	67,354	49,306	50,137	49,840	50,008	35,168										
	総事業費 + +		千円	236,195	213,594	203,584	276,694	261,565	232,840										
	単位あたりコスト (-) ÷		円	830	722	653	886	650	601										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0							0			
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0							0			
都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0	0											
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0	0											
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0											
差引:一般財源 -		千円	236,195	213,594	203,584	276,694	261,565	232,840											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 235

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設修繕・消耗品購入等	152	件	11,436
		光熱水費・電話料	32	館	28,585
		施設保守管理委託	32	館	14,985
		浴室等改修工事	12	館	63,462
その他(謝礼金ほか)					3,494

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初から、高齢者の「憩いの場」として敬老会館を設置してきましたが、平成17年9月に策定した「新たな敬老会館のあり方方針」により、新たに「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の役割・機能を付加し、現在ゆうゆう館として運営しています。NPO法人等との協働による施設運営の拡大により、全館の年間利用者の合計が初めて30万人を超えました。平成19年度に事業開始当初から行っていた入浴事業を終了しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	入浴事業の終了に際し、一部の利用者から苦情がありました。多くの利用者からは好意的に受け取られています。
	今後の予測	NPO法人等との事業運営の協働化の拡大と併せて、これからの長寿社会に対応した施設改修等を進める必要があると予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	長寿社会の進展の中で、ゆうゆう館の果たす役割・機能が大きく注目されています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	これからの長寿社会に対応した施設改修が必要であり、かつ施設の老朽化等による修繕も今後ますます増加します。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	これからの長寿社会に対応した、より有効な施設改修が必要となります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	協働事業の参加者にはある程度の負担を求めることは可能ですが、生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営の観点からは、利用者負担を求めることは困難です。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	これからの長寿社会に対応した施設改修が必要であり、かつ施設の老朽化等による修繕も今後ますます増加すると思われます。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、利用者の安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。さらに、浴室等の改修工事による小集会室などの設置や和室の洋室化の改修工事を実施し、館の利便性を高めることができました。今後も、長寿社会の進展に対応した施設となるよう、和室の洋室化などの改修工事や、老朽化した備品等のリース化などを実施していきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ゆうゆう館の協働事業館が1館増加し、32館中16館で協働による施設運営が実現できました。また、和室の洋室化を3館で、浴室等の小集会室化などを12館で実施しました。	
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ゆうゆう館全館でのNPO法人等との協働による施設運営を目指すとともに、利用の少ない夜間開館については、新たな活用方法等を検討します。また、これからの長寿社会に対応した施設にするため、和室の洋室化や浴室等の小集会室化などの施設改修を段階的に実施します。	
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の拡大に伴い、既存の高齢者団体との利用競合が発生し、それに対する意見・要望が寄せられています。今後のゆうゆう館の利用率(利用時間)などの見直しを進めるとともに、ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の実施方法などについて再度検討を行います。		
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成22年度には、8館で和室の洋室化や浴室等の小集会室化などの施設改修を実施するとともに、老朽化が進む高額な買取り備品等についてリース化を図っていきます。	

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	ゆうゆう高円寺南館の改築	款	4	項	1	目	7	事業	7	整理番号	241	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	係名	管理係計画推進担当			連絡先電話番号	3243		昨年度整理番号	275	枝番号	
上位施策No・施策名	30 高齢者の社会参加と交流の拡大							予算事業区分	投資事業			

事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	2	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 老朽化したゆうゆう館													
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設にします。													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館を選定し、改築する。													

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	館	0	1	1	2	2	2	3	66.7	100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	0.0	3.0	3.0	6.1	6.1	6.1	9.1	67.0	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	373	59,800	55,122	107,698	107,563	0	20年度予算執行率% 99.9			
	(内)投資的経費等	千円	373	59,800	55,122	107,698	107,563	0	特記事項 この事務事業評価は、「ゆうゆう館改築」という大きな枠でなく、施設単体の改築工事(この場合は、ゆうゆう高円寺南館の改築工事)に対する評価となるが、活動指標名及び成果指標名は、「ゆうゆう館改築」と大きな枠で捉えて設定しています。			
	(内)委託費	千円	373	59,800	55,122	102,968	102,967	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.25 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.43 0.00	0.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	2,265	2,742	2,742	2,715	3,892				0
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	2,638	62,542	57,864	110,413	111,455	0				
	単位あたりコスト (-)÷	円		2,742,000	2,742,000	1,357,500	1,946,000	0				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等	千円	0	7,500	7,500	0	0				0
都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0	0				
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0	0				
特定財源計 + + +		千円	0	7,500	7,500	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,638	55,042	50,364	110,413	111,455	0				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 241

20年度 の事業実施 状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2)事業実績		ゆうゆう高円寺南館建築工事	
		ゆうゆう高円寺南館建築土木委託			2,553
		ゆうゆう高円寺南館一般需用費			2,660
		ゆうゆう高円寺南館普通備品			1,936
		その他 ( )			0
		ゆうゆう高円寺南館の改築工事は、計画どおり実施することができました。			

  

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいます。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては、現在では考えられないような設備がそのまま残っています。また、和室2、洋室、茶室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要に合っていない。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けました(平成17年9月)。
	今後の予測	団塊の世代が高齢者となり、利用対象者は今後も増加します。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われます。

  

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増えていきます。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きいです。
(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	ゆうゆう館の改築はその目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難です。
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	ゆうゆう館の改築をするために、利用者に負担を強いることは適当ではありません。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	ゆうゆう館の改築工事については、入札で業者を選定しています。

  

協働等 点検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手
	十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

  

評価と課題	ゆうゆう高円寺南館の改築は計画どおり実施できました。従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設として、ゆうゆう館の果たす役割は、大きいものがあります。今後、実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館の改築を進めます。
-------	--

改善・見直しの方向 (中長期)	成果:    ● 増    ○ 現状維持    ○ 減	コスト:    ○ 増    ○ 現状維持    ● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ゆうゆう高円寺南館の改築工事は、計画どおり実施することができました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成22年度までに、ゆうゆう館の改築を3館で実施する予定です。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	改築工事を実施するにあたっては、併設施設(保育園・児童館等)との調整が必要です。	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増    ○ 増    ○ 増減なし    ○ 減    ○ 大幅減    ● 予算なし	
	(2)理由	ゆうゆう高円寺南館の改築工事は、計画どおり実施できたため。	

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	ゆうゆう下高井戸館の改築			款	4	項	1	目	7	事業	8	整理番号	242			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課			係名	管理係計画推進担当			連絡先電話番号	3243		昨年度整理番号	枝番号				
上位施策No・施策名	30 高齢者の社会参加と交流の拡大			予算事業区分				投資事業								
事務事業の概要	事業開始	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条										
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設にします。			活動指標名(式)	(1) ゆうゆう館(旧敬老会館)改築数(累計) (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館を選定し、改築する。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1) ゆうゆう館数に対する改築したゆうゆう館数の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分	単位	18年度	19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度	計画に対する20年度						
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度	の達成率%	の達成率%						
指標	活動指標(1)	館			2	2	2	3	66.7	100.0						
	活動指標(2)															
	成果指標(1)	%			6.1	6.1	6.1	9.1	67.0	100.0						
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費	千円			2,396	0	0	20年度予算執行率%		0.0						
	(内)投資的経費等	千円				0	0	特記事項 この事務事業評価は、「ゆうゆう館改築」という大きな枠でなく、施設単体の改築工事(この場合は、ゆうゆう下高井戸館の改築工事)に対する評価となるが、活動指標名及び成果指標名は、「ゆうゆう館改築」と大きな枠で捉えて設定しています。								
	(内)委託費	千円			2,396	0	0									
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.10	0.00						0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	905	0						0			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0						0			
	総事業費 + +	千円	0	0	3,301	0	0									
	単位あたりコスト (-)÷	円			1,650,500	0	0									
	財源	受益者負担分	千円			0	0						0			
		国からの補助金等	千円			0	0						0			
		都からの補助金等	千円			0	0						0			
		その他の補助金等	千円			0	0						0			
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,301	0	0									
受益者負担比率 ÷	%			0.0												

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 242

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	実績なし	
	その他( )			0
(2)事業実績	併設施設である保育園の仮園舎の目途がつかず実施できませんでした。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいます。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては、現在では考えられないような設備がそのまま残っています。また、和室2、洋室、茶室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要に合っていない。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けました(平成17年9月)。
	今後の予測	団塊の世代が高齢者となり、利用対象者は今後も増加します。それに伴い、元気高齢者がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増えていきます。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きいです。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	ゆうゆう館の改築はその目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	ゆうゆう館の改築をするために、利用者に負担を強いることは適当ではありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	ゆうゆう館の改築工事については、入札で業者を選定しています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	併設施設である保育園の仮園舎の目途がつかず実施できませんでした。保育園の仮園舎の確保が最大の課題です。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	併設施設である保育園の仮園舎の目途がつかず実施できませんでした。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに、ゆうゆう館の改築を3館で実施する予定です。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	改築工事を実施するにあたっては、併設施設(保育園・児童館等)との調整が必要です。							
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	● 予算なし		
	(2)理由	併設施設の仮園舎の目途がつかず実施できないため。							

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	ゆうゆう館の改修	款	4	項	1	目	7	事業	9	整理番号	243	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	係名	管理係計画推進担当			連絡先電話番号	3243		昨年度整理番号	277	枝番号	1
上位施策No・施策名	30 高齢者の社会参加と交流の拡大							予算事業区分	投資事業			

事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等						
	老朽化したゆうゆう館							(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条					
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 介護予防事業を実施し、地域の介護予防拠点として活用していきます。							活動指標名(式) (1) 介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館数(累計) (2)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 介護予防拠点としてゆうゆう館を利用するため、ゆうゆう館を改修する。							成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) ゆうゆう館数に対する介護予防拠点機能を持ったゆうゆう館数の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値 22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%
		実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	館	5	9	9	14	14	17	21	66.7	100.0
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	15.2	24.2	24.2	42.4	42.4	51.5	63.6	66.7	100.0
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	29,309	14,327	14,004	30,000	26,210	22,500	20年度予算執行率% 87.4		
	(内)投資的経費等	千円	29,309	14,327	14,004	30,000	26,210	22,500	特記事項		
	(内)委託費	千円	29,309	14,327	14,004	30,000	26,210	22,500	ゆうゆう館数に高齢者活動支援センターも含まれます。ゆうゆう館と高齢者活動支援センターの合計は33館です。		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.40 0.00	0.25 0.00	0.20 0.00	0.30 0.00	0.13 0.00	0.23 0.00	改築により介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館も活動指標の館数に加えています(19年度事務事業評価は、その操作をしていないので注意)。		
	人件費	千円	3,624	2,285	1,828	2,715	1,177	2,082	20年度は、国への補助申請と実績額に若干の差がありました。		
	(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	32,933	16,612	15,832	32,715	27,387	24,582			
	単位あたりコスト (-)÷	円	724,800	253,889	203,111	193,929	84,071	122,471			
	財源	千円									
	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0			
国からの補助金等	千円	29,510	14,327	14,003	30,000	24,962	22,500				
都からの補助金等	千円				0	0	0				
その他の補助金等	千円				0	0	0				
特定財源計 + + +	千円	29,510	14,327	14,003	30,000	24,962	22,500				
差引:一般財源 -	千円	3,423	2,285	1,829	2,715	2,425	2,082				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 243

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	介護予防拠点整備(ゆうゆう善福寺館改修)	
		介護予防拠点整備(ゆうゆう大宮前館改修)		5,716
		介護予防拠点整備(ゆうゆう高井戸東館改修)		7,295
		介護予防拠点整備(ゆうゆう大宮堀ノ内館改修)		6,844
	その他( )			0
(2)事業実績	介護予防拠点整備のため、ゆうゆう善福寺館ほか3館の改修工事を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいます。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っています。また、和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要に合っていない。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けました(平成17年9月)。
	今後の予測	団塊の世代が高齢者となり、利用対象者は今後も増加します。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増えていきます。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きいです。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	ゆうゆう館の改修は、その目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	ゆうゆう館を改修するために、利用者に負担を強いることは適当ではありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	改修工事については入札で業者を選定しています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	介護予防拠点化のための改修工事により、今後高齢者人口がますます増える中で、「憩い・いきがい学び・ふれあい交流・健康づくり」の拠点として、ゆうゆう館の果たす役割は大きいものがあります。併設施設との協議、調整を図りながら、介護予防拠点としての整備を進めます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	介護予防拠点化のための改修工事は、計画どおり実施することができました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに介護予防拠点化したゆうゆう館を21館整備します。							
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	平成22年度には、介護予防拠点整備のため、ゆうゆう館の改修を3館で実施します。							